

データから見た滋賀の教育の姿

項目	社会の状況等にかかるデータ	教育をとりまく社会の姿
社会の状況	<p>[人口等]P1, 48</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均年齢が若く (滋賀県 43.1 歳、全国 45.0 歳 第 3 位)、出生率が高い (滋賀県 9.6、全国 8.3 第 2 位)。 ○ 全国と比べ全年齢人口と年少人口ともに減少傾向は緩やか <p>[家族]P3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世帯を家族類型別に見ると、<u>単独世帯が増加</u> <p>[産業]P4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第 3 次産業に従事する就業者の割合が増加</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少が緩やか ○若く、出生率の高い県 ○単独世帯の増加 ○第 3 次産業従業者の増加
県内の地域による違い	<p>[年少人口]P2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>南部地域を除き減少傾向</u>。平成 27 年 (2015 年)以降は、全地域で減少。 <p>[家族]P3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>核家族が比較的多いのは大津、高島</u>。3 世代世帯は湖北、東近江。市部と郡部に分けると、比較的、核家族と単独世帯が多いのが市部、3 世代世帯が多いのが郡部。 <p>[産業]P4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第 1 次産業の就業者が比較的多いのは東近江、高島</u>。第 2 次産業では甲賀、東近江。第 3 次産業では、大津、南部。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の各地域の社会状況等に特色 <p>人口の増減 核家族・3 世代世帯・単独世帯 産業構造 (第 1 次・第 2 次・第 3 次産業)</p>

項目	教育の状況等にかかるデータ	滋賀の教育の姿	
		強み	弱み
学力・進学等	<p>[全体的傾向]P5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学・中学校ともに全国平均正答率の前後 5 ポイントの範囲内 ○ 小学校から中学校になると、正答率が全国比較で向上 <p>[小学校]P6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的、基本的な知識・理解は一定定着している一方、<u>知識や技能を活用する力に課題</u> ○ <u>国語の「書くこと」、数学の「数量関係」に課題</u> ○ <u>学力の高い児童が全国と比べやや少ない</u>。 <p>[中学校]P15</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的、基本的な知識・理解は一定定着。 ○ <u>国語の「書くこと」、記述式問題に課題</u> <p>[高等学校]P23</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校卒業後の状況は、<u>全国と比べ大学等進学率が高い</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本が一定定着 ○小学校から中学校になると正答率が全国比較で向上 ○大学等進学率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識、技能の活用や「書くこと」に課題 ○小学校で学力の高い層がやや少ない
問題行動等	<p>[いじめ]P24</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>小学校 4 年生から中学校 2 年生および高校 1 年生で多い</u>。 ○ 態様では「ひやかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が小中高を通し最も多い。 <p>[暴力行為・不登校・中途退学]P26</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国との比較では、<u>暴力行為と高校の中途退学は少なく、不登校は多い傾向</u>。 ○ 経年比較では、高校での不登校が増えており、暴力行為、小・中学校の不登校、高校の中途退学は減少傾向。 ○ <u>小学校で暴力行為が増加している</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暴力行為や高校の中途退学は少ない ○暴力行為、小・中学校の不登校、高校の中途退学は全体では減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校が全国比で多い ○暴力行為が小学校では増加
体力・運動・生活習慣	<p>[体力・運動]P30</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力・運動能力の値は、全国と比べ小学校で低く、中学校で高い。 ○ 運動習慣では、運動部等所属状況、運動の実施状況、1 日の運動時間ともに、<u>全国と比べ小学校では少なく、中学校では多い傾向</u>。 <p>[生活習慣]P31</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比べ<u>8 時間以上の睡眠をとる子が多い</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校で、体力、運動習慣が全国平均を上回る ○睡眠習慣は比較的良好 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校で、体力、運動習慣が、全国平均を下回る
教育環境	<p>[学校]P34</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校、中学校、高等学校在学者は、全国では減少しているが、滋賀県は<u>小学校で全国よりも緩やかに減少、中学校・高等学校では増加</u>。 ○ 特別支援学校在学者は<u>全国を上回る増加率</u>。 ○ <u>市町立小学校 1 校あたりの児童生徒数は、平成 24 年度で県南部 (大津、南部、甲賀、東近江) が 423.8 人。県北部 (湖東、湖北、高島) が 265.3 人であり、南は北の約 1.6 倍</u>。 ○ 同じく中学校では県の南部で 497.7 人、北部で 294.4 人であり、約 1.7 倍。 ○ 公立学校施設の耐震化率は、<u>小・中学校、特別支援学校で全国平均を上回り、高等学校で下回っている</u>。 <p>[教職員] P43</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立学校教員 (小・中・高) の年齢構成は、<u>全体の 40 %前後が 50 歳以上</u>。 <p>[学校と地域・家庭]P43</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>学校支援地域本部数と、しがふあみ協定締結企業・事業所数が増加</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ○在学者は小学校で全国より緩やかに減少、中・高では増加 ○学校規模に地域差 ○耐震化は小・中学校で進んでいる ○学校と地域、家庭の連携による取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震化率は高校では全国を下回る ○教員年齢構成の偏り
地域、文化生涯学習等	<p>[大学]P48</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>大学の学生数が多い</u>。 (大学・大学院生の人口 10 万人あたりの学生数 2,647 人 3 位) <p>[生涯を通じた学び]P48</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>65 歳以上の人口に占める老人クラブの会員数割合が高い (38.35% 4 位)</u> ○ 公立図書館の県民一人あたり<u>図書貸出数 (1 位)</u>や、学習・自己啓発・訓練の年間行動者率 (3 位) が高いなど生涯学習が盛ん。 ○ <u>ブロードバンドや光回線の世帯普及率が高い (1 位)</u>。 <p>[歴史文化]P48</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>重要文化財指定件数 (4 位)、国指定の名勝数 (2 位) が多い</u>など豊かな歴史文化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学生が多い ○豊かな歴史・文化資産 ○生涯学習の取組盛ん ○図書貸出数が多い 	

※ Pは、別添資料1-1各種データ資料のページ数

